



佐渡市からは、市内の中学校から選抜された「佐渡市中学校選抜」と、今年度の佐渡市中学校野球大会で優勝した「佐渡市立佐和田中学校野球部」の2チームが参加しました。

「佐渡市中学校選抜」は、19日(火)の第1試合で「隠岐の島あんやらーず」(島根県)と対戦し、1対5で惜しくも敗れました。

「佐渡市立佐和田中学校野球部」は、初戦で「三宅島中学生野球チーム」(東京都)と対戦し、26対0で勝利。20日(水)の準々決勝では、「直島中学校野球部」(香川県)と対戦し、8対2で見事勝利しました。続く準決勝では、「対馬ヤマネコボーイズ」(長崎県)と対戦し、0対0のまま7回を終了。大会規定により、タイブレーク方式(無死満塁の状態から

プレイ)の延長戦となり、8回に0対1で惜しくもサヨナラ負けとなりましたが、ベスト4と健闘しました。

21日(木)、サン・スポーツランド畑野野球場で行われた決勝は、「種子島中学校」(鹿児島県)と「対馬ヤマネコボーイズ」が対戦し、3対1で「種子島中学校」が初優勝となりました。

大会終了後、村田兆治さんと元プロ野球選手の「まさかりドリムス」による野球教室が行われ、中学生のほか、島内の野球チームの小学生や指導者なども参加し、走塁や打撃などの指導を受けました。

野球教室の後には、9人の選手が二手に分かれて入れ替わりながら、2分間で何回キャッチボールができるかを競う「キャッチボールク

ラシック」が行われ、「石垣島はいーぐるズ」(沖縄県)、「佐渡市立佐和田中学校野球部」、「直島中学校野球部」の上位3チームが全国大会への出場権を得ました

その後、金井コミュニティセンターを会場に「さよならパーティー」が行われ、大会実行委員長の甲斐市長や大会提唱者の村田兆治氏のあいさつ、松ヶ崎小中学校の児童・生徒による鬼太鼓の披露、ジャンケン大会などがあり、全国の離島から集まった中学生球児たちの交流の最後を締めくくりました。

